

研究課題名	内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査後膵炎に対する術前メシル酸ナファモスタット 20mg2 時間予防投与の有 用性の検討
研究の意義・ 目的	内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査後膵炎(以下 PEP)の予防におけるメシル酸ナファモスタット(以下 NM)は複数のランダム化比較試験を対象とした系統的総説にて効果があるとされていますが、その投与 方法は定まっていません。そこで、我々は術前ウリナスタチン 15 万単位投与と比べて NM20mg2 時間投 与の有用性を証明するために、それぞれでの PEP 発症割合を比較検討することを目的としました。その 結果は以後の PEP における予防薬の選択やタイミングに大きく影響すると考えられます。
研究を行う 期間	倫理委員会承認後-2023 年 3 月 31 日
研究協力をお 願いたい方 (対象者)	2015 年 1 月から 2020 年 2 月に大阪市立大学病院消化器内科で、内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査を施 行した患者さんが対象です。
協力をお願い したい内容と 研究に使わせ ていただく試 料・情報等の 項目	診療の過程で得られた下記の情報、診療記録等を使用させてください。 具体的には、病歴、診断名、年齢、性別、BMI、併存疾患、処置日、既往歴、血液検査データ、CT 画像、内視鏡的逆行性胆道膵管造影検査データ、偶発症、食事開始日
試料・情報の 他機関への 提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしま せん。
この研究を行 っている共同 研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院消化器内科のみで行います。
試料・情報を 管理する責任 者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科 病院講師 丸山 紘嗣
本研究の 利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受け て適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない 場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療 に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-3811 FAX 06-6645-3813 E-mail hiromaruyama99@gmail.com